本資料ではブラウザの種類とバージョンによって、TLS1.1 の有効化する方法を詳しく 説明します。

Internet Explorer 8 の場合

Internet Explorer 8 をご利用の場合は、以下の手順にて TLS を有効にすることができます。

1. Internet Explorer を起動し、【ツール】>【インターネットオプション】の順にクリックしてください。



2. 【詳細設定】タブをクリックしてください。

| インターネット オプション |
|--|
| 全般 セキュリティ ブライバシー コンテンツ 接続 ブログラム 詳細設定 |
| ホーム ページ |
| about:blank |
| ジを使用(C) 標準設定(F) 空白を使用(B) |
| 閲覧の履歴 |
| →時ファイル、履歴、Cookie、保存されたパスワード、および Web フォームの情報を削除します。 |
| ■ 終了時に閲覧の履歴を削除する(₩) |
| 削除(D) 設定(S) 検索 |
| 検索の既定の動作を変更します。 設定(1) |
| タブ タブの中の Web ページの表示方法を設定しま 設定(T) す。 |
| を(O) 言語(L) フォント(N) ユーザー補助(E) |
| OK キャンセル 適用(A) |

3. 必要に応じて、【TLS 1.1 の使用】および【TLS 1.2 の使用】にチェックを入れてください。



4. 【OK】をクリックしてください。



以上の設定で、Internet Explorer 8 にて、TLS が有効になります。

Internet Explorer 9 の場合

Internet Explorer 9 をご利用の場合は、以下の手順にて TLS を有効にすることができます。

1. Internet Explorer を起動し、【ツール(IDE)】>【インターネット オプション】の順にクリックしてください。

| 🔶 🏵 🧭 about:blank | ○ - C × ②空白のページ × | |
|-------------------|--------------------|--|
| | | 印刷(P) ・ ファイル(E) ・ 拡大(Z) (100%) ・ セーフティ(S) ・ |
| | | ダウンロードの表示(<u>N</u>) Ctrl+J アドオンの管理(<u>M</u>) F12 開発者ツール(<u>L</u>) ピンで固定されたサイト(<u>G</u>) |
| | | インターネット オプション(<u>0</u>) |
| | | バージョン情報(A) |
| | | |

2. 【詳細設定】タブをクリックしてください。

| インターネット オプション |
|---|
| 全般 セキュリティ ブライバシー コンテンツ 接続 プログラム 詳細設定 |
| ホーム ページ |
| 複数のホーム ページのタブを作成するには、それぞれのアドレスを行で分けて 入力してください(R) |
| about:blank |
| |
| 現在のヘーンを使用しり(標準設定(F) 空日を使用(B) |
| |
| ー時ファイル、履歴、Cookie、1米存されたパスワード、および Web フォーム の情報を削除します。 |
| ■終了時に閲覧の履歴を削除する(W) |
| 削除(D) 設定(S) |
| 検索の既定の動作を変更します。 設定(1) |
| 57 |
| タブの中の Web ページの表示方法を設定します。 設定(T) 設定(T) |
| デザイン |
| 色(O) 言語(L) フォント(N) ユーザー補助(E) |
| |
| OK キャンセル 適用(A) |

3. 必要に応じて、【TLS 1.1 の使用】および【TLS 1.2 の使用】にチェックを入れてください。



4. 【OK】をクリックしてください。



以上の設定で、Internet Explorer 9 にて、TLS が有効になります。

Internet Explorer 10 の場合

Internet Explorer 10 をご利用の場合は、以下の手順にて TLS を有効にすることができます。

- Internet Explorer を起動してください。
 ※Windows 8 をご利用の場合は、<u>デスクトップ上で</u>起動してください。
- 2. 【ツール(🔯)】>【インターネット オプション】の順にタップまたはクリックしてください。

| | O = C C rei unt | | |
|----------------|-----------------|---|--|
| よくアクセスする | らせて し しょう | ~ | EU刷(P) ファイル(F) 拡大(Z) セーフティ(S) |
| | | | サイトをスタート画面に追加(I) ダウンロードの表示(N) Ctrl+J アドオンの管理(M) F12 開発者ツール(L) ピン留めサイト(G) |
| | | | インターネット オプション(0) パージョン情報(A) |
| | | | |
| 好みに合いそうなその他のサイ | しの情報を入手 | | サイトの非表示 |

3. 【詳細設定】タブをタップまたはクリックしてください。

| インターネット オプション ? × |
|---|
| 全般 セキュリティ プライバシー コンテンツ 接続 プログラム 詳細設定 |
| 複数のホームページのタブを作成するには、それぞれのアドレスを行で分けて 入力してください(R) |
| about:Tabs |
| 現在のページを使用(C) 標準設定(F) 新しいタブの使用(U) |
| スタートアップ |
| ○ 前回のセッションのタブから開始する(B) ● ホーム ページから開始する(H) タブ |
| タブの中の Web ページの表示方法を設定します。 タブ(T) |
| 閲覧の履歴 一時ファイル、履歴、Cookie、保存されたパスワード、および Web フォームの情 報を削除します。 |
| □終了時に閲覧の履歴を削除する(W) |
| 削除(D) 設定(S) |
| 色(O) 言語(L) フォント(N) ユーザー補助(E) |
| OK キャンセル 適用(A) |

4. 必要に応じて、【TLS 1.1 の使用】および【TLS 1.2 の使用】にチェックを入れてください。

| インターネット オプション ? × |
|--|
| 全般 セキュリティ プライバシー コンテンツ 接続 プログラム 詳細設定 設定 |
| ↓ セキュリティ ↓ DOM ストレージを有効にする ↓ POST の送信が POST を許可しないゾーンにリダイレクトされた場合に ♥ SmartScreen フィルター機能を有効にする ↓ SSL 2.0 を使用する ↓ SSL 3.0 を使用する ↓ SSL 3.0 を使用する ↓ TLS 1.0 を使用する ↓ TLS 1.2 の使用 ♥ TLS 1.2 の使用 ♥ サーバーの証明書失効を確認する* ♥ ダウンロードしたプログラムの署名を確認する ♥ ネイティブ XMLHTTP サポートを有効にする ↓ ブラウザーを閉じたとき、[Temporary Internet Files] フォルダーを空く *コンピューターの再起動後に有効になります |
| 詳細設定を復元(R) |
| Internet Explorer の設定をリセット |
| Internet Explorer の設定を既定の状態にリセットします。 リセット(S) |
| ブラウザーが不安定な状態になった場合にのみ、この設定を使ってください。 |
| OK キャンセル 適用(A) |

5. 【OK】をタップまたはクリックしてください。

| | | わ | ·ターネット | オプショ | ン | | ? | × |
|--|---|---|------------------------------------|------------------------------|--------------|----------|--------|-----|
| 全般 | セキュリティ | プライバシー | コンテンツ | 接続 | プログラム | 詳細設定 |] | |
| 設定 | | | | | | | | |
| | セキュリティ ✓ DOM ; ✓ POST ✓ Smart ○ SSL 2 ○ SSL 3 ✓ TLS 1 ✓ TLS 1 ✓ TLS 1 ✓ TLS 1 ✓ サー/(- ✓ ダウンロ | ストレージを有刻 の送信が POS Screen フィル .0 を使用する .0 を使用する .1 の使用する .1 の使用 -の証明書失刻 ードしたプログラ | かにする GT を許可し ター機能を かを確認する | がいゾーン 有効にする j* 確認する | ッにリダイレク i | トされた場合 | * 1 | |
| | I 171 □ 750 □ 750 □ 750 □ 750 | シスMLATTP 一を閉じたとき。 | Tempor | ary Inte | rnet Files |] フォルダーを | ± ∽ | |
| *- | 1ンピューター <i>の</i> |)再記動後に有 | 感したわます | † | | | > | |
| - | | // JA220 04/4 / J | | | 詳細設定 | Eを復元(R) | | |
| Inter | net Explore | er の設定をりセ | ש ר | | | | | - |
| Internet Explorer の設定を既定の状態にリセットします。 リセット(S) | | | | | | | | |
| ブラウザーが不安定な状態になった場合にのみ、この設定を使ってください。 | | | | | | | | |
| | | | ОК | | キャンセノ | لاً ا | 箇用(| (A) |

以上の設定で、Internet Explorer 10 にて、TLS が有効になります。

Internet Explorer 11 の場合

Internet Explorer 11 をご利用の場合は、以下の手順にて TLS を有効にすることができます。

- 1. Internet Explorer を起動してください。
- 2. 【ツール(🔯)】> 【インターネット オプション】の順にタップまたはクリックしてください。

| | | | <u>×</u> |
|--------|---|---------|---|
| (⇐)⊕ 🥭 | 𝒫 - 𝒪 🥌 新しいタブ | × | 合 会 🛱 |
| | よくアクセスするサイト | | 印刷(P) ファイル(F) 拡大(Z) セーフティ(S) |
| | | | サイトをアプリビューに追加(I) ダウンロードの表示(N) Ctrl+J アドオンの管理(M) F12 開発者ツール(L) ビン留めサイト(G) 互換表示設定(B) |
| | | | インターネット オプション(0) |
| | | | バージョン情報(A) |
| | | | |
| | 好みに合いそうなその他のサイトの情報を入手 | | サイトの非表示 |
| | 閉じたタブをもう一度開く - 前回のセッションを開く InPrivat | te ブラウン | ズを開始する |

3. 【詳細設定】タブをタップまたはクリックしてください。

| インターネット オプション ? × | | | | | |
|---|--|--|--|--|--|
| 全般 セキュリティ プライバシー コンテンツ 接続 プログラム 詳細設定 ホーム ページ | | | | | |
| 複数のホーム ページのタブを作成するには、それぞれのアドレスを行で分けて 入力してください(R) | | | | | |
| about:Tabs | | | | | |
| 現在のページを使用(C) 標準設定(F) 新しいタブの使用(U) | | | | | |
| スタートアップ | | | | | |
| ○ 前回のセッションのタブから開始する(B) ● ホーム ページから開始する(H) タブ | | | | | |
| タブの中の Web ページの表示方法を設定します。 タブ(T) | | | | | |
| 閲覧の履歴 一時ファイル、履歴、Cookie、保存されたパスワード、および Web フォームの情 報を削除します。 | | | | | |
| □終了時に閲覧の履歴を削除する(W) | | | | | |
| 削除(D) 設定(S) | | | | | |
| 色(O) 言語(L) フォント(N) ユーザー補助(E) | | | | | |
| OK キャンセル 適用(A) | | | | | |

4. 必要に応じて、TLS 1.1 の使用】および【TLS 1.2 の使用】にチェックを入れてください。

| | | わ | <i>ッ</i> ターネット | · オプショ | シ | | ? | × |
|-------|---|---|--|---|--------------------------------------|-------------------------------|-----------------------|-----|
| 全般 | セキュリティ | プライバシー | コンテンツ | 接続 | プログラム | 詳細設定 | | |
| 設定 | | | | | | | | _ |
| | ✓ Smart SSL 2 SSL 3 ✓ TLS 1 < | tScreen フィル .0 を使用する .0 を使用する .0 を使用する .1 の使用 .1 の使用 -の証明書失刻 ーの証明書失刻 ードしたプログラ ブ XMLHTTF ーを閉じたとき パューターでの パューターでの パューターのフ されたページを | ター機能を かを確認する うしのまた。 りサポートを 、 て日のアク アイルでのア・ ディスクに保 | 有効にする う* 確認する 有効にする っ ティブ コン クティブ コン クティブ コン | な ernet Files テンツの実行 ンテンツの実 | 5] フォルダーを 行を許可する 行を許可する | <u>*</u> 空 * 5* | |
| < | | 12#** 1*** * * | 18 1 - A mi | | ****** | | > | |
| *- | コンピューターの |)再起動後に有 | 効になります | đ | | | | |
| | | | | | 詳細設 | 定を復元(R) | | |
| Inter | net Explore | er の設定をりセ | ساب | | | | | _ |
| Int | ternet Explo | orer の設定を | 既定の状態 | にリセットし | 」ます。 [| リセット(S |) | |
| ブラ | ウザーが不安 | 定な状態にな | った場合にの | み、この話 | 定を使って | ください。 | | |
| | | | OK | : | キャンセ | JL | 適用(| (A) |

5. 【OK】をタップまたはクリックしてください。

| | インターネット オプション | ? | × | | |
|--|---|---------------|-----|--|--|
| 全般 設定 | セキュリティ プライバシー コンテンツ 接続 プログラム 詳細設定 |] | | | |
| | ✓ SmartScreen フィルター機能を有効にする SSL 2.0 を使用する SSL 3.0 を使用する ✓ TLS 1.0 を使用する ✓ TLS 1.1 の使用 ✓ TLS 1.2 の使用 □ サーバーの証明書失効を確認する* | ^ | | | |
| < | マイフンピュートしたフログラムの著名を確認する ネイティブ XMLHTTP サポートを有効にする ブラウザーを閉じたとき、[Temporary Internet Files] フォルダーを マイコンピューターでの、CD のアクティブコンテンツの実行を許可する* マイコンピューターのファイルでのアクティブコンテンツの実行を許可する 暗号化されたページをディスクに保存しない | 空 * * v | , | | |
| * | コンピューターの再起動後に有効になります 詳細設定を復元(R) | | | | |
| Inter | net Explorer の設定をリセット | | _ | | |
| Internet Explorer の設定を既定の状態にリセットします。 リセット(S) | | | | | |
| ブラウザーが不安定な状態になった場合にのみ、この設定を使ってください。 | | | | | |
| | OK キャンセル i | 箇用 | (A) | | |

以上の設定で、Internet Explorer 11 にて、TLS が有効になります。

Google Chrome の場合

TLS1.1を有効にする手順は以下に示しています。

| 1 Google Chrome を起動し Chrome 画面の右島上部の「Google Chrome | | |
|---|--|---|
| | の設定]ボタンをクリックし、「設定」を | 新しいタブ(T) Ctrl+T |
| | クリックします。 | 新しいウィンドウ(N) Ctrl+N |
| | | シークレット ウィンドウを開く(I) Ctrl+Shift+N |
| | | ブックマーク(B) ▶ |
| | | 編集 切り取り(T) コピー(C) 貼り付け(P) |
| | | Chrome にログイン |
| | | 設定(S) |
| | | Google Chrome について(G) |
| | | へ)レプ(H) |
| | | 終了(X) |
| | | |
| 2 | 表示された「設定」画面の一番下の 「詳細設定を表示」をクリックします。 | Chrome 設定 |
| | | ^{屈歴} Google ▼ 検索エンジンの管理… |
| | | 拡張機能 ゴンスタント検索を有効にして検索を高速化する(アド) ります) 設定 |
| | | ユーザー |
| | | ヘルプ 現在、あなたが唯一の Google Chrome ユーザーです。 |
| | | 新しいユーザーを追加 このユーザーを削除 ブック |
| | | 既定のブラウザ |
| | | Google Chrome を既定のブラウザにする |
| | | 現在、Google Chrome は既定のブラウザに設定されていませ |
| | | 詳細設定を表示 |
| | | |

